

第2回国立大学法人奈良教育大学経営協議会議事要旨

1. 日 時 平成23年6月29日(水) 10時～12時
2. 場 所 大会議室
3. 出席者 菅谷文則委員、仲川順子委員、前原金一委員、森雅彦委員
長友学長、宮崎理事(総務)、中谷理事(教育)、生田副学長(企画)、佐野副学長(研究)、
陪席者 鷲山理事、藤巻監事、加藤副学長(地域連携・国際交流)、玉村附属学校部長、池島教授
4. 議 題

◎審議事項

- 1 平成22年度決算(貸借対照表及び損益計算書)(案)について(資料1)
- 2 平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書について(資料2)
- 3 教職大学院認証評価に係る自己評価書について(資料3)
- 4 平成24年度概算要求事項等について(資料4)
- 5 平成23年度国立大学法人施設整備費補助金(大学教育研究特別整備費)について(資料5)
- 6 附属小学校・附属幼稚園における30人学級の実施について(資料6)

◎報告事項

- 1 国立大学法人学長・機構長会議等について(資料7)
- 2 平成23年度科学研究費補助金の採択状況等について(資料8)
- 3 学部改組の公表について(資料9)

◎その他

5. 議 事

◎審議事項

- 6 附属小学校・附属幼稚園における30人学級の実施について
総務担当理事、附属学校部長から資料6に基づき説明があり、審議の結果、30人学級の実施について、原案のとおり承認された。
主な意見は以下のとおり
○変更理由が、社会情勢、公立校園での減少、周辺人口の減少等、全てソーシャルパワーばかりである。今後は、論文等、根拠資料に基づき検討を行うべきではないか。
○一律30人学級とすることに違和感がある。むしろ20人学級と40人学級にして研究を行う発想が欲しい。減らせば良いという問題では無い。
→平成18年度から、28人学級と36人学級の実践教育を進めてきた実績があるが、30人学級実施による教育効果について、今後数年間、毎年度末に報告書を出してもらうよう要請している。
→園児、生徒数の減により生じる収入減については、附属学校・園で対応する。

◎報告事項

- 2 平成23年度科学研究費補助金の採択状況等について
研究担当副学長から資料8に基づき、11教育系大学の平成23年度科学研究費補助金応募件数、内定数、交付額等について報告があった。

◎審議事項

- 3 教職大学院認証評価に係る自己評価書について
企画担当副学長、池島教授から、資料3に基づき説明があり、審議の結果、以下のとおり一部修正の上、承認された。
資料訂正は以下のとおり。

○P32 資料4-1-1-B 平成21年度修了対象者数 「16」→「15」

主な意見は以下のとおり

- 教育の質の問題について解決策が記されていない。国際社会に通用する学生の育成が求められているにも関わらず、卒業した学生が受けてきた教育と、企業が求めているものとの乖離が著しい。大学教員の目線が低い。目標をもっと高く設定し、大学院から、奈良教育大学から変えていく姿勢が欲しい。
- キャンパス内にインターナショナルスクールを開設してはどうか。
- 会話を英語のみに限定した授業を開講してはどうか。

1 平成22年度決算（貸借対照表及び損益計算書）（案）について

総務担当理事、会計課長から、資料1に基づき、監査法人の監査を受けた資料である旨の説明があり、審議の結果、以下のとおり一部修正の上、承認された。

資料訂正は以下のとおり。

○P29 3. 沿革3行目 奈良県尋常小学校を創設→奈良県尋常師範学校を創設

主な意見は以下のとおり

○土地の評価額の算定方法について。

→法人移行時（平成16年4月）の評価額を現在も用いている。

2 平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

教育担当理事から資料2に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

4 平成24年度概算要求事項等について

総務担当理事から資料4に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり予算要求することが承認された。

5 平成23年度国立大学法人施設整備費補助金（大学教育研究特別整備費）について

総務担当理事から資料5に基づき説明があり、審議の結果、予算要求することが承認された。

資料訂正は以下のとおり。

○P3 右最下欄 「必要最小限の事務は」→「必要な事務は」

主な意見は以下のとおり。

○双方向授業システムについて、オンデマンドにも対応出来るよう構築すべき。

○無線LANを整備しておけば、後々の活用法が広がる。

◎報告事項

1 国立大学法人学長・機構長会議等について

学長より資料7に基づき、国立大学法人学長・機構長等会議議事内容について、また、資料7（追加）に基づき、国立大学の機能強化【中間まとめ】（案）について報告があった。

3 学部改組の公表について

企画担当副学長から資料9に基づき、5月30日に行った学部改組の公表について報告があった。